

邑知瀉のコハクチョウ

川口 雅 登

私は羽昨市内の小学校に勤務するものです。11月上旬に、子どもから邑知瀉に白鳥がきていることを知らされる。それから、私の白鳥さがしが始まる。毎日、邑知瀉（東回り）経由で学校へ行く。カモはいるが目的の白鳥はいない。11月2日頃にコハクチョウが邑知瀉にきたことを知る。白鳥にあえない日が10日ほど続く。11月20日（土）午前8：00瀉の上空を飛ぶ3羽のコハクチョウをはじめて見る。瀉をよこぎり対岸へ行くので追跡をやめる。

- 11月21日(日) 午前8：00 瀉の回りをさがすが発見できず。
午後1：30 千路の水田で7羽のコハクチョウを確認、まもなく飛びたつ。
その後コハクチョウの姿をみることもなく12月2日にいたる。
- 12月2日(木) 午後4：30 5～6羽のコハクチョウが瀉においていくのを見る。明日ここから飛びたつのではないかと、通勤のコースを西回り邑知瀉経由にする。
- 12月3日(金) 午前8：00 飛びたつのはみれなかったが、上空を旋回するコハクチョウ10羽確認。
- 12月4日(土) 午前8：00 川面にうかぶコハクチョウ13羽・飛翔中のコハクチョウ10羽確認。
- 12月5日(日) 午前8：10 10羽飛びたつので追跡、ひし分の水田におりる。行ってみると32羽がきていて羽を休めている。
午前8：30 10羽くわわり合計52羽となる。今までの最大数となる。
- 12月6日(月) 午前8：00 16羽のコハクチョウを確認。
午後4：50 飛翔している15羽のコハクチョウを確認。
- 12月7日(火) 午前7：45 川面に20数羽のコハクチョウ。
午後8：00から、8羽・7羽・5羽と次々に飛びたち、金丸出の水田へ。
- 12月8日(水) 午前8：10 川面から28羽・9羽・4羽と次々に飛びたつ。その中の大集団の28羽は鹿島路の水田でエサをあさる。写真を撮るため近づくと、ヨチヨチ歩きで遠ざかる。今日41羽確認。
- 12月9日(木) 午前7：55 川面にコハクチョウを確認できず。あたりをみまわすと、金丸出の水田に20羽のコハクチョウを確認。瀉の上空を飛ぶコハクチョウの群れを発見、まもなく、ひし分の水田におりる。
- 12月10日(金) 8：12 金丸出の水田に19羽、ひし分の水田に8羽、川面に6羽、あわせて33羽のコハクチョウを確認。
- 12月11日(土) 午前8：00 やや風強く・雨まじりのためか、川面に5羽のコハクチョウを確認しただけ。
- 12月12日(日) 午前8：00 風強く・雨もふっているためか、1羽も姿をみせず。
- 12月13日(月) 午前7：45 4羽・3羽・4羽と次々に飛びたつ。まだ川面に18羽のコハクチョウがいる。
- 12月14日(火) 午前7：42 雨がふる中を12羽のコハクチョウ（2羽は幼鳥）、川面を泳ぐ。

- 12月15日(水) 午前7:45 昨夜、雷雨をとまなうかなりの雨で川は増水している。川面で8羽のコハクチョウを確認。
- 午前7:52 8羽とはちがう他の群れ12羽が飛びたつ。いつもと様子がちがう。旋回することもなく一直線に河北潟の方へ飛んでいく。先に飛んでいた6羽がくわわり、18羽の群れは8:02、双眼鏡から姿を消す。
- 12月16日(木) 午前7:42 川面を泳ぐ12羽のコハクチョウを確認。
- 午前7:40 飛翔中のコハクチョウ7羽発見。
- 午前7:50から4羽・5羽・4羽とこきざみに飛びたつ。そして鹿島路の水田に着水。
- 午前7:56 鹿島路の水田で、40羽を確認。写真をとるため近づくと、コハクチョウは、いっせいに飛びたち、もとの川面にもどる。
- 12月18日(土) 午前7:50 鹿島路の水田で47羽のコハクチョウを確認。
- 12月19日(日) 午前7:20 鹿島路の水田で5羽発見。30分後8羽が飛んでくる。後は2分から11分の間をとり、着水する。12羽・12羽・6羽・4羽・4羽・3羽の順で着水。最後の3羽が着水したのは、8時30分。合わせて50羽のコハクチョウを確認。川面でケガをして飛びたてない白鳥1羽を発見。合計51羽のコハクチョウを確認。
- 12月20日(月) 午前7:45 川面を泳ぐ12羽のコハクチョウと潟の上空を飛翔中の10羽のコハクチョウを確認。
- 12月21日(火) 午前7:15 うす暗い中を5羽のコハクチョウ飛びたつ。鹿島路の水田におりる。行ってみると、すでに群れをなしている。42羽確認。
- 12月22日(水) 午前7:30 川面に12羽のコハクチョウ泳ぐ。まもなく飛びたち、鹿島路の水田へ行く。鹿島路の水田にあわせて44羽(幼鳥11羽)のコハクチョウを確認。
- 12月23日(木) 午前7:15 鹿島路の水田で48羽、川面で1羽確認。
風が強いので、全部頭を風上にむけ、じっとしている。
- 12月24日(金) 午前7:30 風がたいへん強いので、頭を風上にむけ、かたまっているの、数は確認できず。
- 12月25日(土) 午前11:45 朝いけなかったので昼いったせいか1羽のコハクチョウもみつけられず。
午後7:00 昼みつけられなかったの、夜に鹿島路の水田へ行く。暗くてわかりにくかったが、車のヘッドライトのあかりで、5羽確認する。
- 12月26日(日) 午前8:15 鹿島路の水田で48羽確認。
- 12月27日(月) 午前10:20 鹿島路の水田にコハクチョウ、エサをついばむ。
- 12月28日(火) 午前9:20 鹿島路の水田でコハクチョウ、エサをついばむ。10時50分に半分がとびたつ。残りもまもなくとびたつ。対岸へ行く。12時15分、休んでいるコハクチョウを千田の水田で発見。52羽いるようだ。ケガをしているコハクチョウ1羽をくわえると53羽となる。
- 12月29日(水) 午後1:30 小川をはさんで12羽の群れと40羽の群れにわかれる。小川をはさんだむこうにいるのを初めてみる。
- 午後9:30 数十羽のコハクチョウを確認。

- 雨の中、バチッバチッ音をたてながらエサをさがしている。
大きななき声をかわしながらいる。
- 12月30日(木) 午後7:30 いつものように鹿島路の水田でエサをさがしている。あたりは静かなので、みょうになき声が聞こえる。録音する。いろんななき声があるのに驚く。
- 12月31日(金) 午前9:40 いつものように集まってはいない。4枚の水田にちらばっている。52羽確認。
午後8:40 昼に比べ、夜はよくないている。録音する。
- 1月1日(土) 午前6:30 録音にでかけるが、10分もしないうちに静かになるので録音をやめる。
午前10:20 ばらばらにいたので数が数えやすかった。52羽確認。
幼鳥14羽確認する。
午後9:00 やはり鹿島路の水田でエサをついばんでいる。今日4度コハクチョウをみにきたが、いつもいる。今日、空を飛んだのだろうか。
- 1月2日(日) 午前6:50 コハクチョウ、鹿島路の水田に多数いる。
- 1月3日(月) 午前6:50 いつものところにいる。
午後1:15 適度にちらばっているので幼鳥を数えてみたら15羽?いる。
- 1月4日(火) 午前7:20 鹿島路の水田に多数のコハクチョウ。
けがしているコハクチョウ1羽、川を泳いでいる。
午前9:40 写真をとるためちかずくと、コハクチョウとびたつ。10羽とびたち、飯山方面へいく。そのうち1羽だけコホーコホーコホーとなきながらかえってくる。20分後、残りの9羽もかえってくる。
- 1月5日(水) 午後4:15 瀧の上空を飛翔するコハクチョウを発見。どこへおりのか確認せずかえる。
- 1月6日(木) 午前7:30 鹿島路の水田に17羽(幼鳥5羽)しかいない。他のコハクチョウはどこへ
- 1月7日(金) 午前7:30 鹿島路の水田で多数。エサをさがし、口ばしを、田の中へいれている。
- 1月8日(土) 午前6:47 コハクチョウ、多数エサをたべている。
午後1:00 成鳥33羽、幼鳥13羽、合わせて46羽エサを食べている。
- 1月9日(日) 午前10:15 いつものようにエサを食べている。コハクチョウ多数。
- 1月10日(月) 午前8:05 昨夜から雪がふり、少し積もる。今朝も雪がちらついている。
いつもと同じところで摂食している。コハクチョウの白さが、いつになくめだたず、土っぽい色にみえた。
- 1月11日(火) 午前8:10 雪が5cmほど積もった。コハクチョウがいなくなかみえたが、4羽(成長2羽・幼鳥2羽)いた。車からおりて、写真をとろうとすると、いつになく敏感で、飛びたち、瀧へおりた。他の仲間も瀧にいるのか心配だ。
午後4:30 成鳥7羽・幼鳥5羽、合わせて12羽いた。雪のある中で摂食していたので、車からおり写真をとろうとすると飛びたった。仲間が少ないからか、いやに敏感になっている。
- 1月12日(水) 午前8:05 コハクチョウ1羽もない。瀧にいるのか、それともエサと安住の地をも

- とめて移動したのだろうか。
- 午後4:50 コハクチョウはいない。だけど、田んぼをよくみると、摂食していたらしく、足あとがあり、そして、にごっていた。
- 今日一日1羽のコハクチョウもみることができなかった。
- 1月13日(木) 午前8:05 コハクチョウはもういないのではという不案を胸にだき、鹿島路の田へいく。成鳥20羽・幼鳥8羽、合わせて28羽のコハクチョウを確認する。
- 他の24羽とケガのコハクチョウはどこにいるのだろうか。
- 午後4:45 鹿島路の田に、成鳥5羽・幼鳥2羽、合わせて7羽、摂食している。
- 1月14日(金) 午前8:00 今朝は寒く、氷結していたので、白鳥はいないのではないかと不安を胸にだき、潟へいく。いやな予感あたり、あたり一面をみわたすが、1羽の白鳥も発見できず。
- 1月15日(土) 午前8:15 いつもどころに4羽(成鳥2羽・幼鳥2羽)
- 線路より水田に20羽(成鳥15羽・幼鳥5羽)
- 合わせて24羽(成鳥17羽・幼鳥7羽)の白鳥を確認する。
- 1月16日(日) 午前8:30 昨夜は寒くて氷結している。白鳥はみあたらず。
- 午前11:35 もう一度みにきたが、やはりいない。
- 午後4:45 期待せずよってみる。成鳥28羽・幼鳥10羽を確認する。
- ケガをしている白鳥をみかけないが、なおったのであろうか。
- 1月17日(月) 午前8:05 鹿島路の水田に成鳥12羽・幼鳥3羽、合わせて15羽の白鳥確認する。
- 水けのないところでエサをついばんでいる。
- 1月18日(火) 午前8:05 鹿島路の水田に19羽(成鳥14羽・幼鳥5羽)の白鳥を確認する。
- 午後6:15 暗くてあまりみえないが、20~30羽の白鳥がいる。ここで夜をすごすのだろうか。
- 1月19日(水) 午前8:00 潟から4羽の白鳥が飛びたち、鹿島路の水田におりる。
- おそらく白鳥と思われる大きな鳥が14羽、美しいV字形をなし大空を飛んでいく。二の宮の上空をよくみあげてみるともう一群の群れがあり、20羽をこえる群れとなり、七尾湾方面へ飛んでいく。
- 午前8:05 鹿島路の水田へいくと19羽(14羽の成鳥・5羽の幼鳥)がいる。
- 午前8:10 同じ鹿島路地区だが、いつもどころより約1kmはなれた所に、8羽(成鳥4羽・幼鳥4羽)の白鳥を発見する。
- 1月20日(木) 午前8:00 昨夜から雪が降り、5cmほど積もっている。小雪がちらつく朝。潟に1羽の白鳥をみる。ケガをしている白鳥だろうか。
- 午後5:00 あたり一面銀世界。鹿島路にも、潟にも白鳥を発見できず。
- 1月21日(金) 午前8:05 橋から、泳いでいる白鳥4羽(成鳥2羽・幼鳥2羽)を確認する。ケガをしている白鳥以外にも、いることを知る。
- 1月22日(土) 午前8:05 雪が30cmほど積もっているためか、1羽の白鳥もみつけられない。
- 1月23日(日) 午後2:15 雪が35cmほど積もっている。鹿島路の水田にも潟にも白鳥はいない。

- 1月24日(月) 午前8:05 鹿島路にも瀧にもいない。もう3日もみていない。どこかへ行ってしまったのだろうか。あうまで心配だ。
- 1月25日(火) 午前8:05 今日も1羽の白鳥も確認できない。
- 1月26日(水) 午前8:00 朝からお日さまがさすよい天気。水田の雪も消え、今日あたり、白鳥がいるのではないかと思ふ胸はずむ。鹿島路の水田で白鳥をみつける。
午後2:00 白鳥34羽ポカポカのよい日だからか、のんびり羽づくろいをしている。
午後5:05 あいかわらず34羽の白鳥が、鹿島路の田にいる。夕日をバックにおもいきり写真をとる。
- 1月27日(木) 午前8:00 快晴。鹿島路の田に11羽(成鳥7羽・幼鳥4羽)の白鳥を確認。瀧で泳いでいる14羽の白鳥を確認。
午後5:00 鹿島路の田に21羽(成鳥14羽・幼鳥7羽)の白鳥を確認する。そこへ4羽の白鳥が姿をみせ、1羽はおりたが、残りの3羽は、何度も旋回したが、おりずにたちさる。
午後5:15 鹿島路の田にいた白鳥が飛びたち、大きく2回旋回し、瀧におりる。
- 1月28日(金) 午前7:55 邑知瀧で休んでいる白鳥の群れ、20~30羽を発見する。瀧を泳ぐ白鳥の写真をとる。
- 1月29日(土) 午前8:00 4羽が鹿島路の田におりる。
8:05 鹿島路の田で28羽(成鳥17羽・幼鳥11羽)確認する。
8:10 2羽飛びたち、大きく2回旋回し、もとのところへおりる。
午後1:00 鹿島路にはいなく、金丸出の田で28羽(成鳥17羽・幼鳥11羽)エサをさがしている。
- 1月30日(日) 午前10:35 鹿島路の田に21羽(成鳥14羽・幼鳥7羽)確認する。
- 1月31日(月) 午前7:50 橋の上から瀧をみるが、みあたらず。
7:56 瀧から6羽の白鳥が飛びたち、3回旋回し、鹿島路の田へおりる。
8:02 3羽の白鳥が瀧から飛びたち、1回旋回し、鹿島路の田へおりる。
8:06 5羽の白鳥が瀧から飛びたち、1回旋回し、鹿島路の田へおりる。
8:09 11羽の白鳥が瀧から飛びたち、1回旋回し、鹿島路の田へおりる。
8:12 瀧に5羽の白鳥がみえる。
今朝、合計30羽の白鳥を確認する。
- 2月1日(火) 午前7:15 しみてこおっているため、田には白鳥がいない。瀧に20~30羽いるのを確認する。
- 2月2日(水) 午前7:55 雨にもめげず、23羽の白鳥が、鹿島路の田でエサをさがしている。
午後5:00 白鳥はみあたらず。新しいサギのねぐらを発見する。
- 2月3日(木) 午前8:00 31羽の白鳥を確認。
午後5:00 鹿島路・金丸出・瀧にも白鳥みあたらず。白鳥はどこへ?
- 2月4日(金) 午前8:05 22羽(成鳥16羽・幼鳥6羽)確認。
- 2月5日(土) 午前7:55 鹿島路・金丸出の田に白鳥みえず。瀧に20~30羽いる。

- 2月5日(土) 午後1:15 鹿島路・金丸出の田にいないので対岸へいく。千田の田でエサをついばむ32羽の白鳥を確認する。
右足をケガをしてびっこをひいている1羽の幼鳥がいた。いつ、どこでケガをしたのだろうか。
- 2月6日(日) 午後2:05 鹿島路・金丸出・瀧でさがしてみるが、1羽も確認できず。
- 2月7日(月) 午前8:00 雪がふる中、鹿島路の田でエサをついばむ23羽(成鳥15羽・幼鳥8羽)の白鳥を確認する。
- 2月8日(火) 午前7:55 鹿島路・金丸出・瀧で白鳥の姿をみつけられず。
- 2月9日(水) 午前8:00 鹿島路の田に30羽(成鳥19羽・幼鳥11羽)の白鳥がエサをついばんでいるのを確認する。
- 2月10日(木) 午前8:00 鹿島路A群に12羽(成鳥8羽・幼鳥4羽)鹿島路Cに4羽(成鳥2羽・幼鳥2羽)の白鳥を確認する。
- 2月11日(金) 午前6:20 雪がたくさんあり、エサをさがせないためか、鹿島路・金丸出の田にはいない。瀧のほうをみるが、うす暗くてわからない。
- 2月12日(土) 午後3:20 白鳥は、瀧にも、鹿島路・金丸出の田にもいない。
- 2月13日(日) 雪が多いので車がはいらず、いけない。
- 2月14日(月) 今日、いけず。早く車が通れるようにならないかな。
- 2月15日(火) 今日、雪が多くていけない。
- 2月16日(水) 午前7:50 瀧にも、鹿島路・金丸出の田にも白鳥がいない。
午後4:50 鹿島路・金丸出の田へいくが、白鳥がいた様子はまったくない。
- 2月17日(木) 午前7:55 どこにも白鳥がいない。
午後5:10 鹿島路・金丸出にいないので、吉崎・千田・ひし分のあたりをさがすがいない。
- 2月18日(金) 午前7:45 瀧・鹿島路・金丸出の田にも1羽の白鳥もいない。
- 2月20日(日) 午後2:30 ふぶきの寒い日。やはり白鳥はいない。北へかえったのだろうか。
- 2月22日(火) 午後5:15 瀧・鹿島路・金丸出の田に1羽の白鳥も確認できず。
- 2月23日(水) 午後5:00 鹿島路・金丸出・瀧にもいない。
もう12日も白鳥をみていない。2月10日に邑知の里を去っていったようだ。
- 3月3日(木) 午前8:04 いつものように瀧を通り鹿島路の白鳥のいた田へ行くと、白いかたまりが見える。すぐ白鳥だと思った。行ってみると成鳥16羽・幼鳥7羽合わせて23羽発見する。20日ぶりに帰ってきた。今まで、どこへいついたのだろうか。
- 3月4日(金) 午前8:00 鹿島路の田に成鳥2羽・幼鳥2羽合計4羽確認。
午後4:30 鹿島路・金丸出にいないので対岸の千田へいく。
千田でエサをついばむ26羽(成鳥17羽・幼鳥9羽)の白鳥を発見する。
- 3月5日(土) 午前8:00 千田の田でエサをついばむ白鳥20数羽確認する。
- 3月6日(日) 午後3:30 千田の田で44羽確認(成鳥32羽・幼鳥12羽)

- 3月6日(日) 午後5:45 千田の田で54羽確認する。暗くて成鳥・幼鳥の区別できず。
数がふえたのを不思議に思い、鹿島路の田へいく。
ついたのが6時10分。鹿島路の田にも12羽の白鳥がいる。この12羽は、千田から飛んできたものか、別なものか?
今日は、いままでの最高である53羽を1羽ふえ54羽となる。鹿島路の12羽が飛んできたものでないとするならば、66羽となる。
- 3月7日(月) 午前6:10 昨日の12羽の正体をさぐるため鹿島路のねぐらへいく。
午前6:24 12羽がとびたち、千田の田へいく。
6:30 4羽とびたち、千田の田へおりる。
6:31 17羽がとびたち千田の田へおりる。
6:32 4羽がとびたち千田の田へおりる。
合計37羽の白鳥が鹿島路の田から千田の田へいく。どうも昨日の12羽は、私が54羽を確認して、鹿島路へいく25分間の間に移動していたように思う。
- 3月8日(火) 午前7:55 千田の田に多数の白鳥を確認する。
- 3月9日(水) 午前8:05 千田の田で37羽の白鳥を確認する。
- 3月10日(木) 午前7:55 千田の田で多数の白鳥を確認する。数不明。
- 3月12日(土) 午後2:30 千田の田で成鳥26羽・幼鳥9羽、合計35羽確認する。
- 3月14日(月) 午前8:00 雪がふり視界が悪いので、白鳥の有無を確認できず。
- 3月15日(火) 午前7:55 鹿島路・金丸出・千田にも白鳥はみあたらない。
午後4:50 千田の田で、成鳥26羽・幼鳥9羽、合計35羽の白鳥確認。
- 3月16日(水) 午前7:45 千田の田に、約20羽～30羽の白鳥がいる。
午後4:55 尾長の田に、白鳥34羽(成鳥26羽・幼鳥8羽)確認する。
- 3月17日(木) 午前5:55 金丸出・鹿島路・千田にいない。千田の田で夜をすごしてはいないようだ。
午前6:15 瀧から4羽の白鳥がとびたち千田の田へいく。
午前6:23 瀧から3羽の白鳥、続けて11羽の白鳥がとびたち千田へいく。
午前6:25 4羽の白鳥が瀧からとびたち千田の田へいく。
- 3月18日(金) 午前5:59 鹿島路の田から8羽と1羽の白鳥がとびたち千田の田へいく。
午前6:03 鹿島路の田から3羽と11羽の白鳥がとびたち千田へいく。
午前6:05 鹿島路の田から5羽と2羽の白鳥がとびたち千田の田へいく。
- 3月19日(土) 午後2:10 千田の田で34羽の白鳥(成鳥26羽・幼鳥8羽)を確認する。
- 3月21日(月) 午後3:15 千田の田で26羽の白鳥(成鳥21羽・幼鳥5羽)を確認する。
- 3月22日(火) 午前8:05 金丸出・鹿島路・千田の田に白鳥をみつけられず。
- 3月24日(木) 午前7:50 白鳥はいない。
午後4:00 千田の田へいくがいない。

3月21日の26羽を最後に白鳥は邑知の里をさり北へ帰る。

「白鳥のいる風景」を読んで

特に興味深く感じたことは、標識鳥の行動と渡りのコース、白鳥のみわけ方と寿命、成鳥と幼鳥の割合、多くのすばらしい生態写真、アカ鳥のことなどでした。

自分自身が、成鳥と幼鳥を区別して観察したのは遅く、12月の下旬頃からです。それからの見た総数にしめる成鳥・幼鳥の割合を百分率でだしてみました。

	見た総数	成鳥の数	幼鳥の数	成鳥の割合(%)	幼鳥の割合(%)
12月22日	44	33	11	75	25
1月1日	52	38	14	73	27
1月6日	17	12	5	71	29
1月8日	46	33	13	72	28
1月11日	12	7	5	58	42
1月13日	28	20	8	71	29
1月15日	24	17	7	71	29
1月16日	38	28	10	74	26
1月17日	15	12	3	80	20
1月18日	19	14	5	74	26
1月19日	19	14	5	74	26
1月27日	21	14	7	67	33
1月29日	28	17	11	61	39
1月30日	21	14	7	67	33
2月4日	22	16	6	73	27
2月7日	23	15	8	65	35
2月9日	30	19	11	63	37
2月10日	16	10	6	63	37
3月3日	23	16	7	70	30

以上のような割合になり、最大値と最小値を除いた17回の成鳥の割合を百分率であらわすと61%~75%、幼鳥の割合を百分率であらわすと25%~39%となり、110ページに書いてある成鳥の割合57%~75%、幼鳥の割合25%~43%に、ちかい数字がでてきました。

※ 渡りで1シーズンで南下し、北上し、また南下し、北上することがよくあるのでしょうか？